

# 佐賀市水対策市民会議「学習会」資料集

第一回「佐賀平野の水（基本知識）」（3月21日）

第二回「嘉瀬川の水利用と水利行政への提言」（4月27日）

補足「多布施川の水量の減量懸念と増量可能性」

第四回「現時点まででわかったこと」（6月29日）

## 現時点まででわかったこと

川上会長整理

### 1. 多布施川に流れる水は2系統あること。

#### ① 佐賀土地改良区が水利権を取得して川上頭首工から取水する水。

非かんがい期(10/11～5/31)には、多布施川注水量が最大1.19m<sup>3</sup>/s、多布施川から分派する天祐寺川へ最大1.18m<sup>3</sup>/sとなっている。

実態管理は、多布施川注水量は約1.1m<sup>3</sup>/s、佐賀市上水取水約0.5m<sup>3</sup>/s、天祐寺川分派量約0.6m<sup>3</sup>/s。

#### ② 石井樋から河川管理者が河川管理行為として1.4m<sup>3</sup>/s程度注水した水。

その後の準用河川への分派量0.96m<sup>3</sup>/s(植木0.14、城井0.28、後毛0.19、御茶屋0.23、辻の堂0.02、ポンポン0.10)。東南橋0.44m<sup>3</sup>/s。

### 2. 嘉瀬川の水管理は、国土交通省筑後川工事事務所が行う。

水利権内で川上頭首工から適正に取水されているかどうか管理。

石井樋から多布施川に適正に分派。

嘉瀬川水系の適正な豊水利用。

### 3. 佐賀土地改良区における適正な配水

多布施川への適正な注水と天祐寺川への適正な分派。

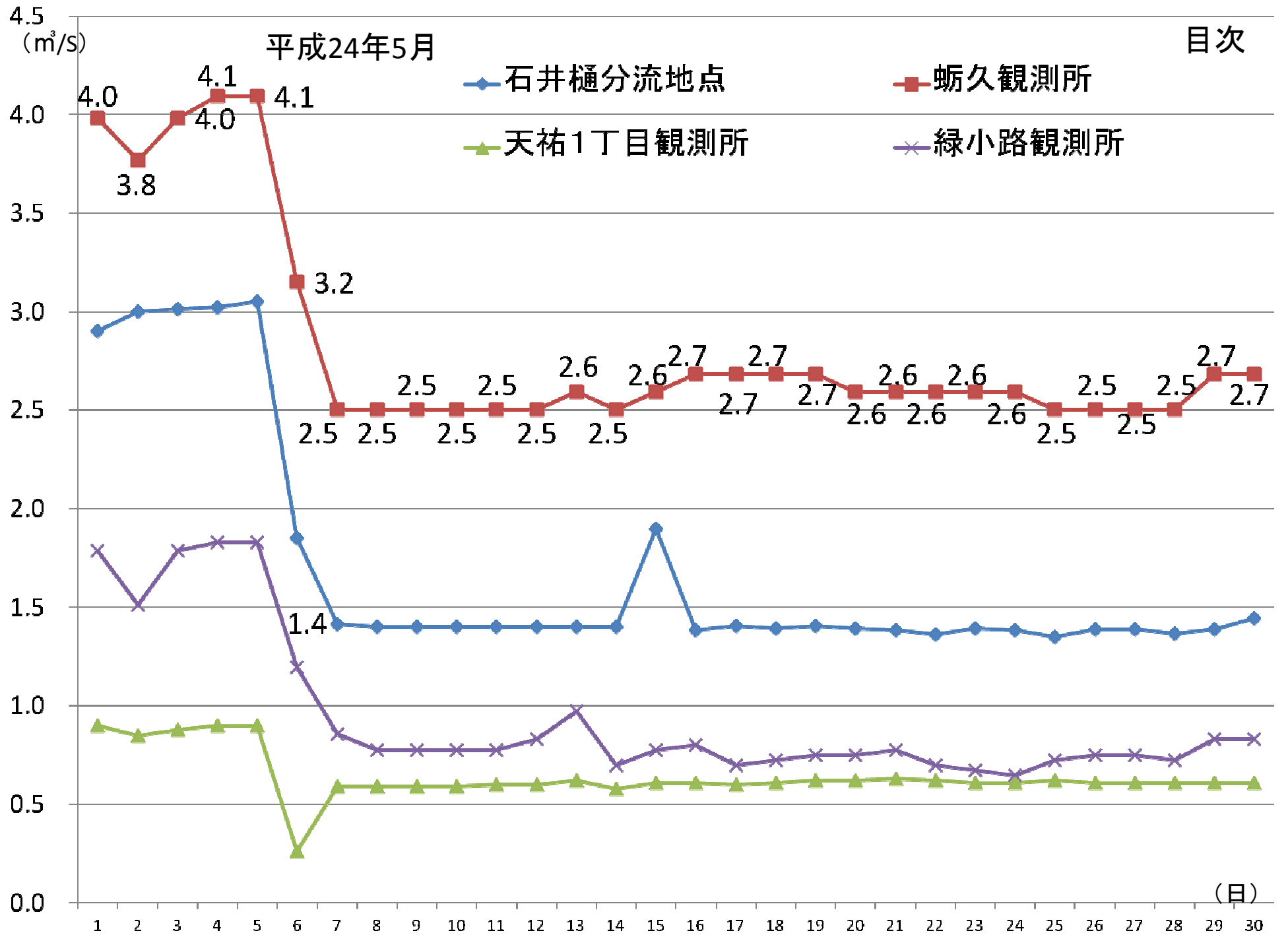
## 現時点まででわかったこと

川上会長整理

### 4. 今後の課題

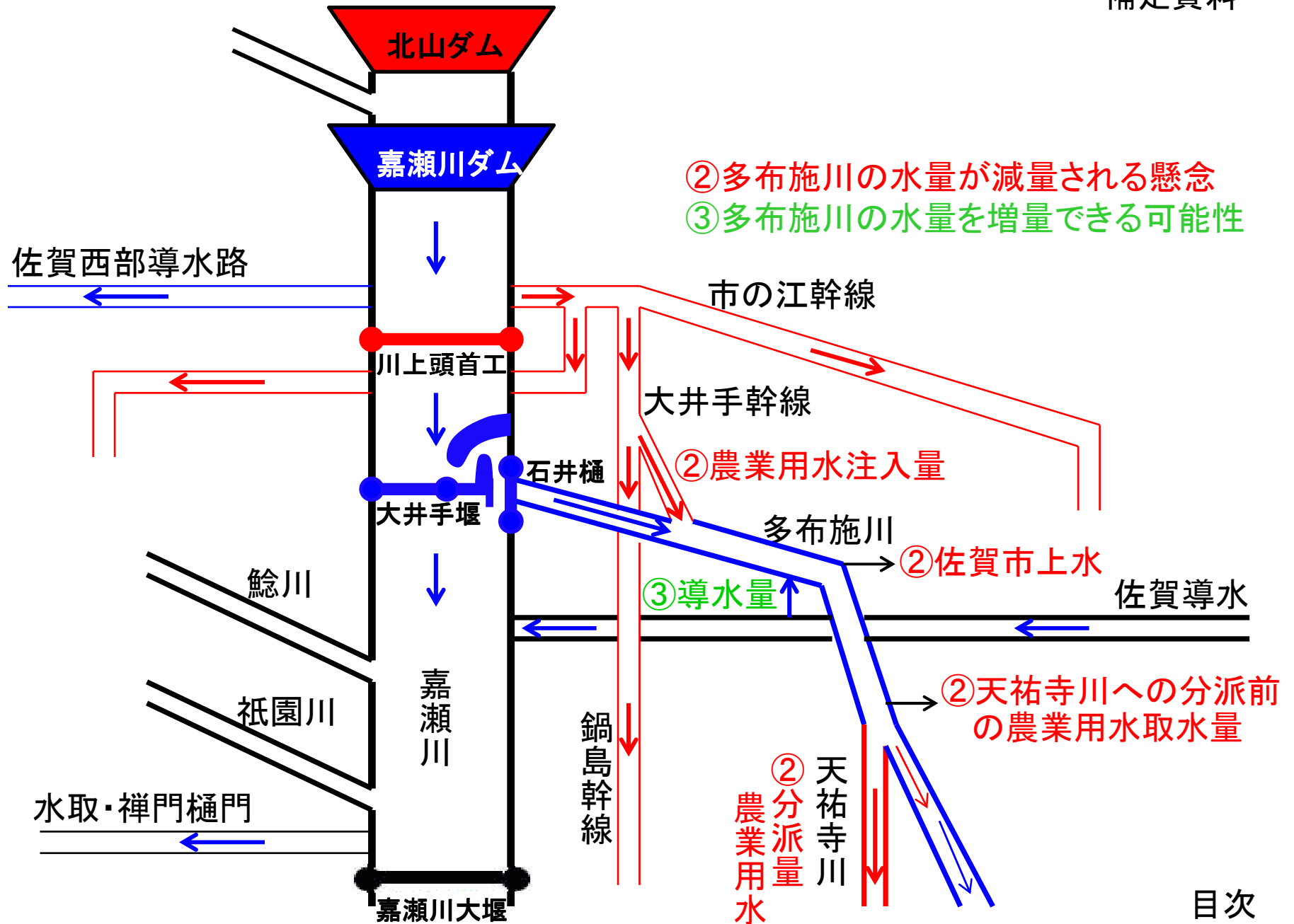
- ① 佐賀土地改良区における目指す実態管理が行われるか。  
天祐寺川分派量の水利権 $1.18\text{m}^3/\text{s}$ を主張されると破綻。  
→ 佐賀市と佐賀土地改良区の調整、必要となれば水利権の再整理(国)。
- ② 石井樋から多布施川に分派される約 $1.4\text{m}^3/\text{s}$ の適正な水管理  
佐賀市が中心となって、5準用河川と約20の樋管への最適な分派量を地元  
の理解のもとに決定し、その水量をもとに適正な水管理が求められる。  
⇒ 佐賀市水対策市民会議の役割、試験通水も必要か。
- ③ 嘉瀬川水系の豊水利用の考え方の整理  
川上頭首工からの取水に豊水水利権を与えているが、石井樋から多布施川へ  
の豊水利用との関係が整理されていない。  
→ 河川管理者が整理。

平成24年5月



# 嘉瀬川低水模式図(嘉瀬川ダム完成)

補足資料



目次

# 嘉瀬川の水利用

## 1. 基本認識の共有

- ① 私たちが住んでいる場所(佐賀平野)の特徴と互譲の精神
- ② 水利用の経過(特に北山ダムを中心とした水利用と石井樋完成後の試験通水)
- ③ 今後の方向

## 2. 環境用水確保に向けての課題

- ① 嘉瀬川ダム完成後の計画上の多布施川の水量(環境用水)
- ② 多布施川の水量が減量される懸念
- ③ 多布施川の水量を増量できる可能性

## 3. 佐賀市街地の水のあるまち

- ① 限られた水量の分配方策(まちづくり上の重点化も含む)
- ② 負担を伴う増量

## 4. 嘉瀬川の水利用

- ① 水系全体の環境用水の分配
- ② 水利調整の体制

## 5. 多布施川の水利用

- ① 試験通水と水分配の合意形成
- ② その管理体制(今後の協議も含む)

# 「今後の水利行政のあり方について」(提言)

河川審議会は、水利調整部会において平成10年5月以来3回にわたって、早急に取り組むべき当面の方策について検討を進めてきたが、このたび、同部会の検討を踏まえ、建設大臣に対し、今後の水利行政のあり方について提言を行ったものである。

## ○ 提言の概要

河川審議会は、平成11年3月25日、水系全体を視野に入れながら、河川管理者と利水者、あるいは利水者間のコミュニケーションを日頃から高めていく方策や地域の特性等を反映させていく方策等について、建設大臣に対し提言を行った。

### (1) 検討の視点

#### 1. 低水管理の実行

取水実態の把握、利水情報・河川情報の積極的提供

河川管理者と利水者が一体となった平常時における河川の適正利用の実行

#### 2. 地域の特性等の反映

水利使用許可の考え方を、全国一律のものから、個々の河川の実態など地域特性等を反映したものにする必要がある

#### 3. 水利使用許可手続きの迅速化、透明化等

許可手続きの迅速化、透明化を行える環境を創り出していく必要がある

### (2) 当面実施すべき施策

#### 1. 河川や流域の特性を反映させた水利使用ルールへの転換と河川関係者間の問題意識の共有化

具体的には、河川管理者と利水者等からなる[流域水利用協議会](#)を設け、共通の問題意識を醸成することが必要

#### 2. 真に水利調整・渇水調整を行うべき地域での適切な取水実態の把握と調整

#### 3. 水利使用許可手続の迅速化等

#### 4. 水資源の有効活用(需要に対応した既存の水利使用の調整・ダム統合管理等の推進)

# 嘉瀬川の水利用

平成24年4月27日  
第二回「学習会」

## 1.基本認識の共有

- ①私たちが住んでいる場所(佐賀平野)の特徴と互譲の精神
- ②水利用の経過(特に北山ダムを中心とした水利用と石井樋完成後の試験通水)
- ③今後の方向

## 2.環境用水確保に向けての課題

- ①嘉瀬川ダム完成後の計画上の多布施川の水量(環境用水)
- ②多布施川の水量が減量される懸念
- ③多布施川の水量を増量できる可能性

## 3.佐賀市街地の水のあるまち

- ①限られた水量の分配方策(まちづくり上の重点化も含む)
- ②負担を伴う増量

## 4.嘉瀬川の水利用

- ①水系全体の環境用水の分配
- ②水利調整の体制

## 5.多布施川の水利用

- ①試験通水と水分配の合意形成
- ②その管理体制(今後の協議も含む)



# 「今後の水利行政のあり方について」(提言)

河川審議会は、水利調整部会において平成10年5月以来3回にわたって、早急に取り組むべき当面の方策について検討を進めてきたが、このたび、同部会の検討を踏まえ、建設大臣に対し、今後の水利行政のあり方について提言を行ったものである。

## ○ 提言の概要

河川審議会は、平成11年3月25日、水系全体を視野に入れながら、河川管理者と利水者、あるいは利水者間のコミュニケーションを日頃から高めていく方策や地域の特性等を反映させていく方策等について、建設大臣に対し提言を行った。

### (1) 検討の視点

#### 1. 低水管理の実行

取水実態の把握、利水情報・河川情報の積極的提供

河川管理者と利水者が一体となった平常時における河川の適正利用の実行

#### 2. 地域の特性等の反映

水利使用許可の考え方を、全国一律のものから、個々の河川の実態など地域特性等を反映したものにする必要がある

#### 3. 水利使用許可手続きの迅速化、透明化等

許可手続きの迅速化、透明化を行える環境を創り出していく必要がある

### (2) 当面実施すべき施策

#### 1. 河川や流域の特性を反映させた水利使用ルールへの転換と河川関係者間の問題意識の共有化

具体的には、河川管理者と利水者等からなる[流域水利用協議会](#)を設け、共通の問題意識を醸成することが必要

#### 2. 真に水利調整・渇水調整を行うべき地域での適切な取水実態の把握と調整

#### 3. 水利使用許可手続の迅速化等

#### 4. 水資源の有効活用(需要に対応した既存の水利使用の調整・ダム統合管理等の推進)

目次

# 佐賀平野の水（基本知識）

## 1.佐賀平野の水

平野が広い、山地が浅い。「降れば洪水、降らなければ渇水」  
主な水源は、筑後川、嘉瀬川。  
クレーク、ため池の存在と循環利用

## 2.佐賀平野で展開された広域利水事業

筑後川下流土地改良事業(用水系は筑後川下流用水事業)  
旧国営嘉瀬川土地改良事業  
佐賀導水事業、嘉瀬川ダム事業

## 3.水利権と水利用

水利権 既得優先、既得利水者の同意。  
未来永劫の権利保証ではない。10年ごとに見直し。

## 4.多布施川の環境用水確保に当たっての関心事

川上頭首工からの取水  
石井樋からの流入量

## 5.多布施川環境用水を考える上でのポイント

嘉瀬川の豊水の使い方  
佐賀市上水の水源地

# 広域的水利用 佐賀平野の水利用の変遷Ⅳ

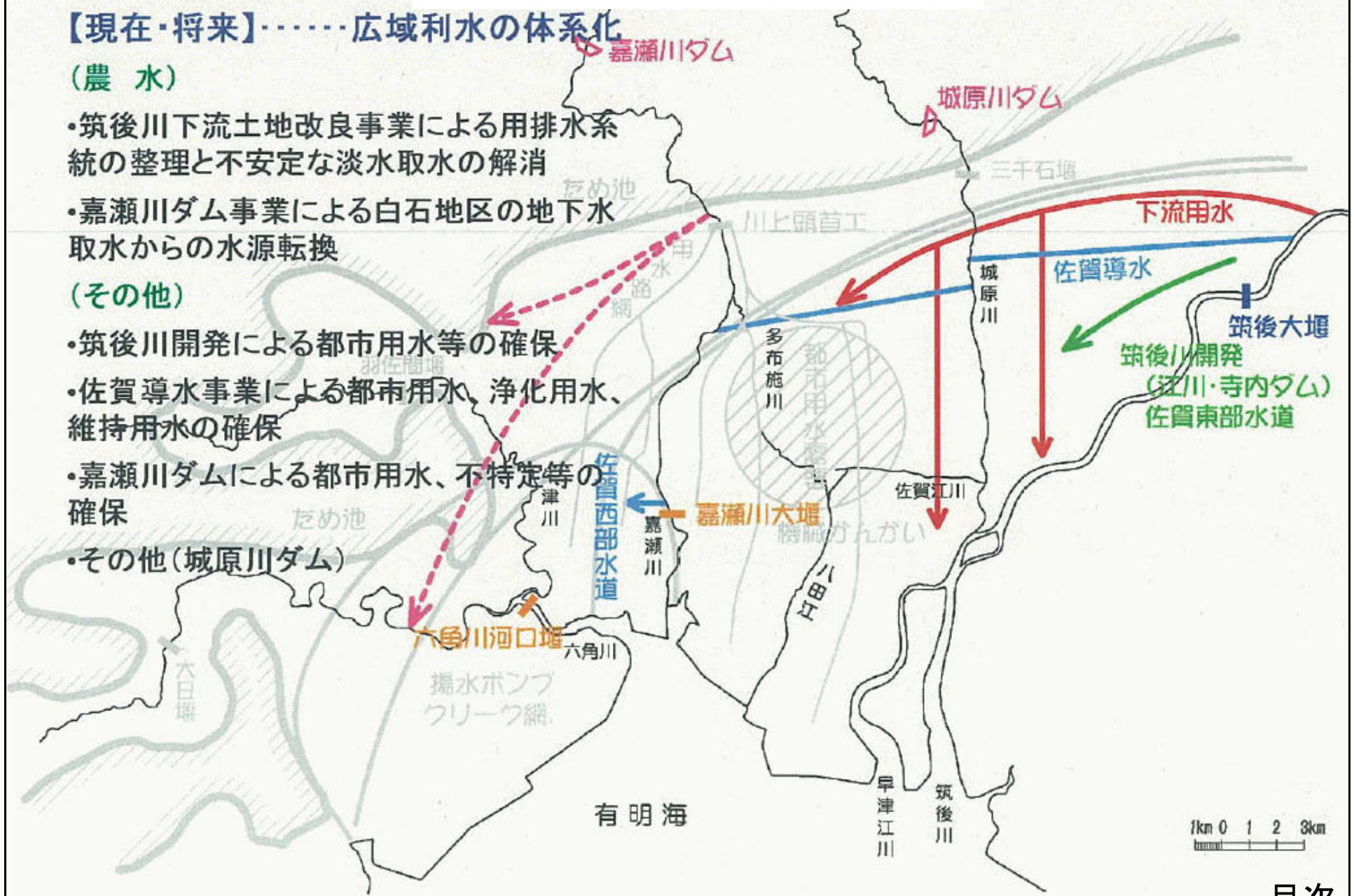
【現在・将来】……広域利水の体系化

## (農水)

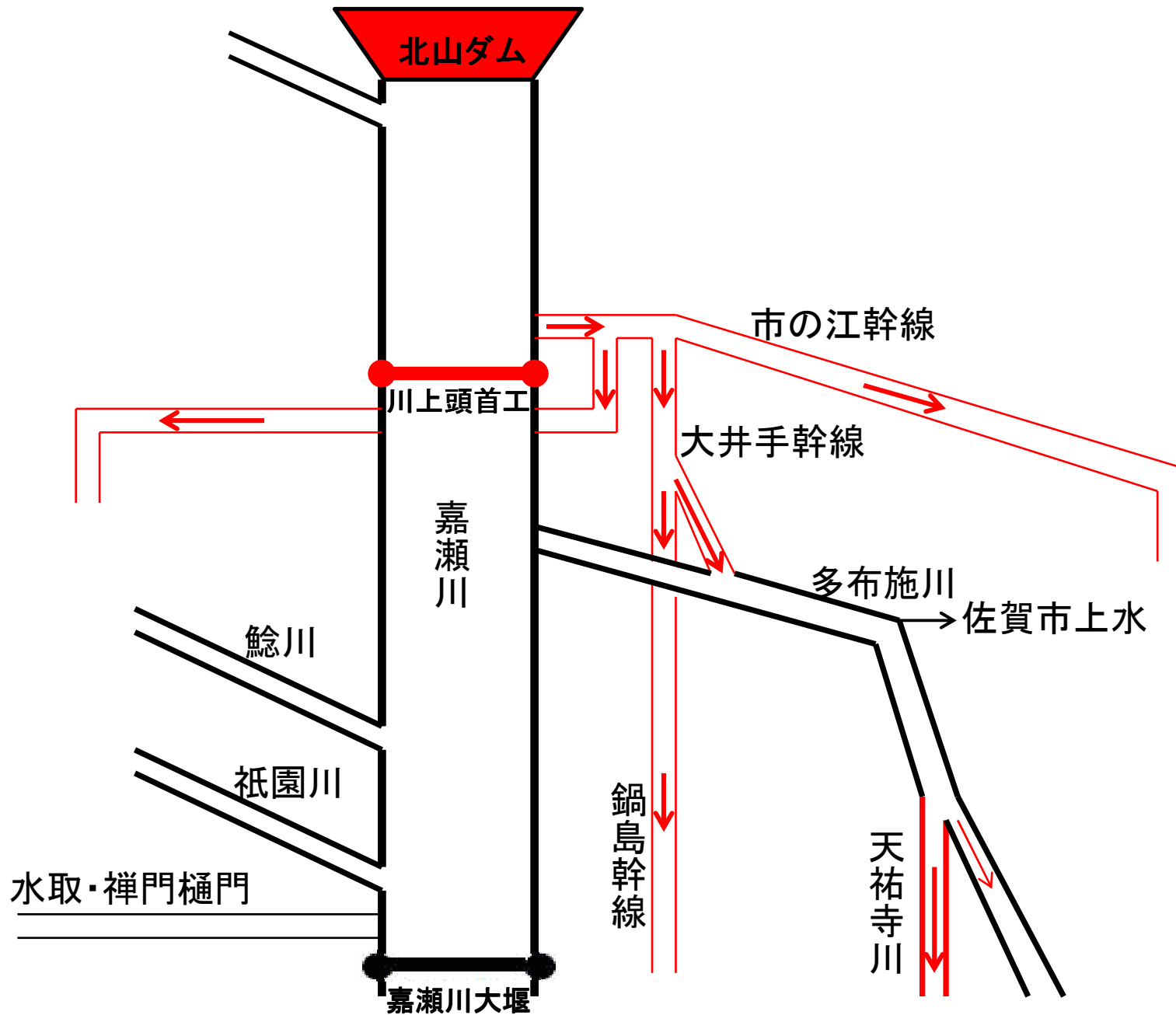
- ・筑後川下流土地改良事業による用排水系統の整理と不安定な淡水取水の解消
- ・嘉瀬川ダム事業による白石地区の地下水取水からの水源転換

## (その他)

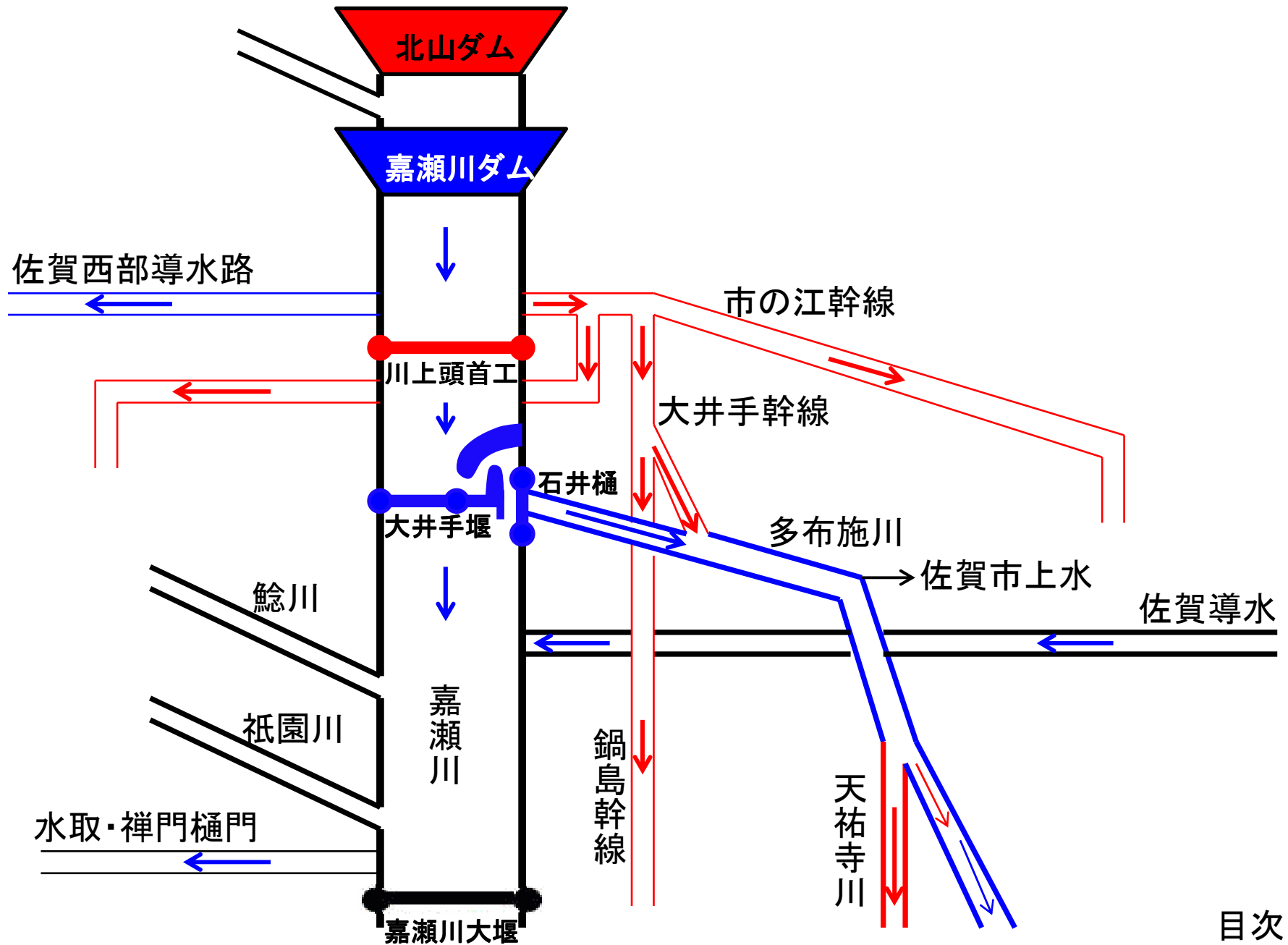
- ・筑後川開発による都市用水等の確保
- ・佐賀導水事業による都市用水、浄化用水、維持用水の確保
- ・嘉瀬川ダムによる都市用水、不特定等の確保
- ・その他(城原川ダム)



# 嘉瀬川低水模式図(嘉瀬川ダム完成前)

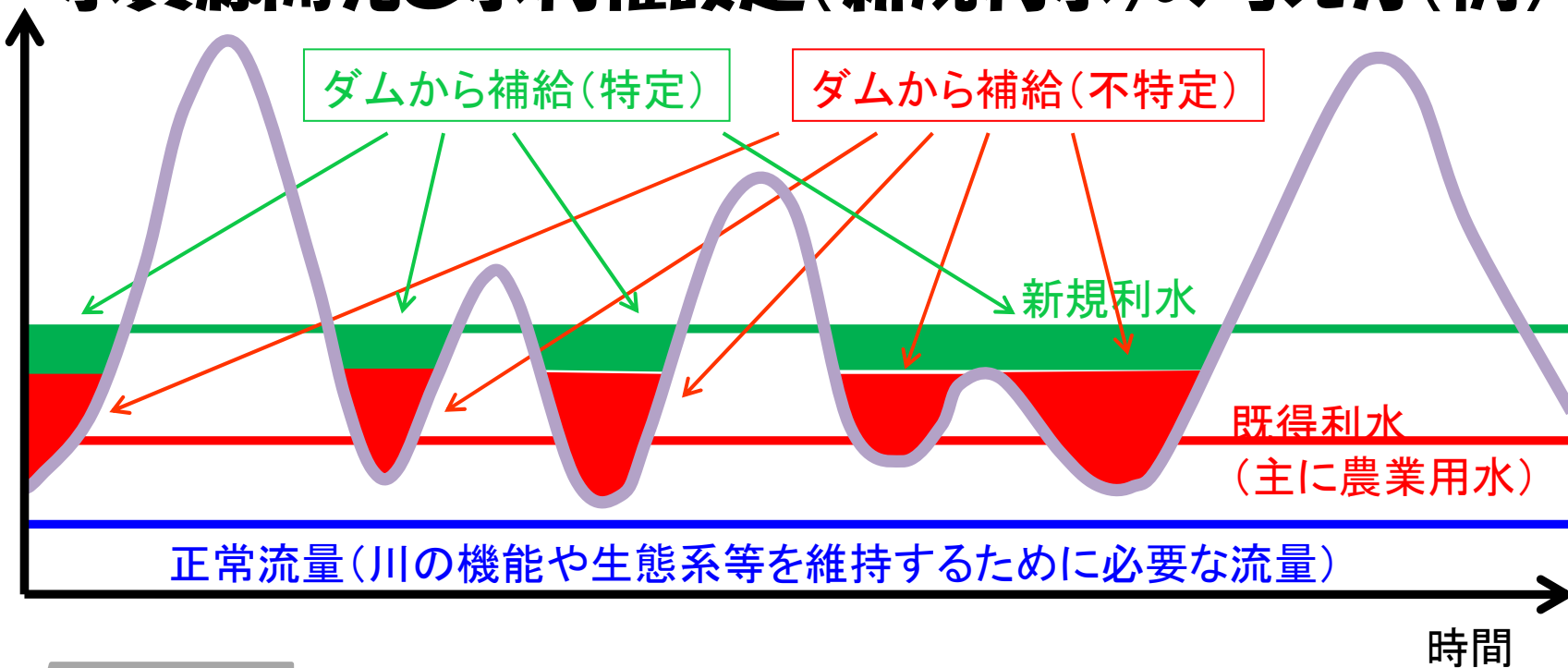


# 嘉瀬川低水模式図(嘉瀬川ダム完成)



# 水資源開発と水利権設定(新規利水)の考え方(例)

取水地域(川上頭首工)の流量



## ダムとダム湖の断面図(イメージ)

